

自治連

〈第72号〉

令和6年2月1日
北本市自治会連合会
TEL 591-1111(内線2292)

ごあいさつ

会長 秋葉 清

あけましておめでとうございます。会員の皆様には自治会連合会の運営にご協力をいただきありがとうございます。本年も引き続きご協力をお願いいたします。

昨年は、9月頃から新型コロナウイルスやインフルエンザが流行り、なかなかウイルスと離れられない年でした。しかし、自治会活動は通常に戻りつつあり、4年ぶりに各地域の夏まつりにお招きいただき、皆様方とお話させていただくことができました。

また、全員研修会も開催し、3つの自治会の取組みを

紹介させていただきました。各自治会とも、独自の視点で工夫しながら活動していることに感心いたしました。

本年は、新年賀詞交歓会を4年ぶりに開催できましたことは、皆様方のお力添えをいただいたのおかげです。

連合会では、今後も各自治会の活動を支えて参りますので、会員の皆様には、健康にご留意いただき、地域活動にご尽力いただきたいと思います。

役員研修報告

副会長 浅野 勉

去る9月29日(金)、自治会連合会役員視察研修を実施しました。「首都圏を含む利根川水系の洪水調節について体験・学習する」をテーマに、群馬県吾妻郡長野原町にある八ッ場ダムを視察しました。

1952(昭和27)年の建設計画から紆余曲折を経て、2020(令和2)年3月に完成した、重力式コンクリートダムです。ダム下流の吾妻



峡等の景観・自然保全を考慮して、当初計画より上流に建設されました。大雨対策、都市用水確保が主な役目です。

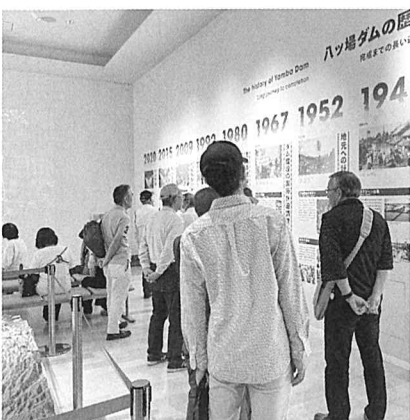
まずはダム上部の入口にあるエレベーターに乗って下り、通路をくぐって水が貯まった反対側のダム最下部の見学場所へ。高さ116メートルの巨大な壁を見上げました。壁の向こうはダム湖です。もしダムが崩壊したら、ひとたまりもない所に立って

いると思うと、不思議な感じでした。

近隣は豊かな自然が残った吾妻峡遊歩道、移転再開した河原湯温泉街、吾妻線の廃線を利用した自転車型トロッコなど、お勧めスポットがたくさんあります。今回は、立ち寄ることができませんでしたが、個人的には再度訪れたいと思う一帯でした。

単にダムを見学するだけでなく、ガイドさんによる解説を聴き、資料館では計画に反対した住民の方々が、受け入れ賛成に至るまでの経緯を学び、非常に有意義な研修会となりました。

道の駅八ッ場ダムふるさと館にて、看板メニュー『ダムカレー』の昼食を取り、帰路につきました。



全員研修会報告

会長 秋葉 清

北本市内には111の自治会があります。その数だけ自治会長さんがいますが、毎年約半数が新任会長に入れ替わります。自治会運営に様々な悩みを抱える会長が一堂に会して勉強会を行うのが「全員研修会」です。経験の浅い会長は先輩のアドバイスを得る機会に、ベテラン会長も情報収集の場となっています。

今回は3名の自治会長に



事例発表をしていただきました。

最初は、中央4丁目自治会の小峯和寿様から、自治会長業務の分担による負担軽減について発表いただきました。副会長二人にコミュニケーションと社協の業務をそれぞれ担当してもらおうことで、年間で十数回の会議出席が削減されて、会長本来の自治会運営に専念できるとのことです。会長は今後を見据えた班編成や会員個々の考えなどをくみ上げることなどに時間が使えるとのことでした。

次に、緑3丁目自治会の小野勉様から、祭りの運営の工夫について発表いただきました。コロナ後、再開したまつりの参加者を増やしていくために子ども向けの夏まつりに内容を直し、参加人数を大幅に向上させると共に、本宿8丁目と共催し、アトラクションの充実を図ることができたとのことでした。

最後に、中丸3丁目自治会の桑島修様から、ホームページを活用した自治会運営について発表いただきました。2年前に役員会で今後の活動に

ついでの検討と掲示板の減少について議題となり、ホームページの開設に至ったのとことです。ホームページには、自治会からのお知らせを載せているようで、効果の検証は難しいと思いますが、資源回収場所の設置の仕方や当番表、ごみ分別マニュアルの掲載は、必要な人がいつでも確認できるように、有効なものではないでしょうか。各自治会がホームページを開設していくのはなかなかハードルが高いと思いますが、今後の展開を楽しみにしています。

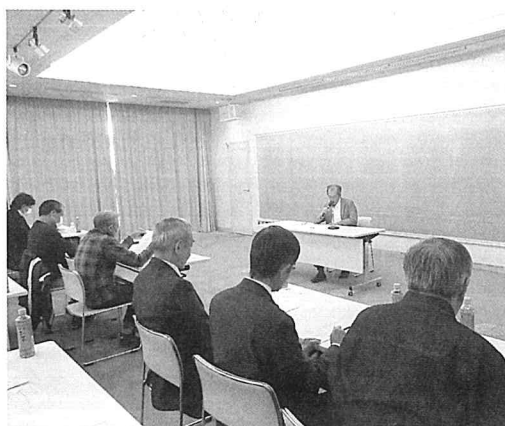
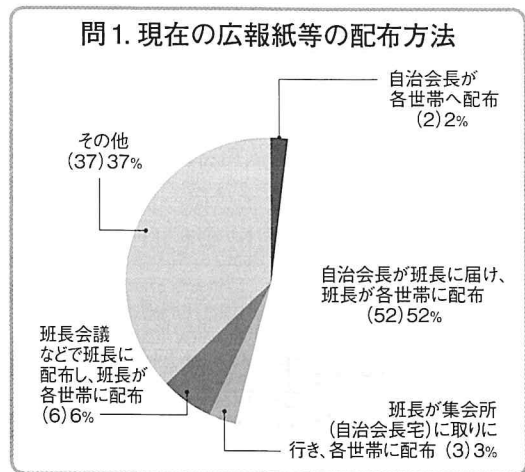
自治会広報紙配布状況アンケート結果報告

地域行政研究委員会

委員長 田場 勇助

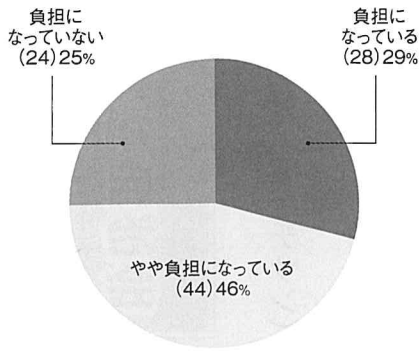
自治会連合会では、各自治会の広報紙の配布状況の把握や全戸配布に関するご意見を伺うため、自治会長111名を対象に令和5年7月10日～8月10日の間でアンケート調査を実施しました。その結果、回答率90・1%を得られ、内容がまとまりましたので報告します。

問1. 現在の広報紙等の配布方法

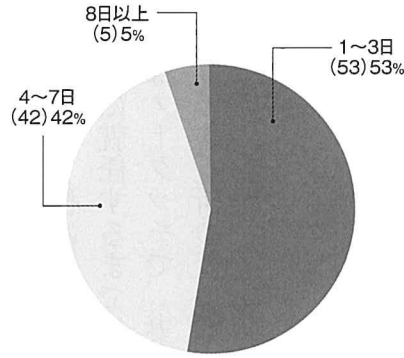


短い時間でしたが、たくさんの質問も出て、今後の自治会運営に参考となる有意義な研修会となりました。

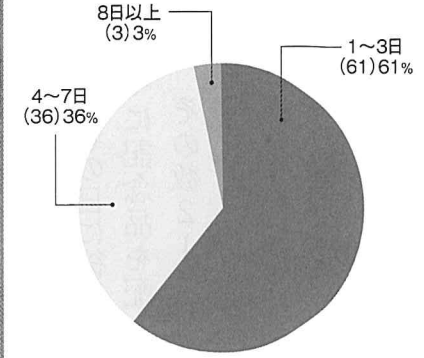
問4.自治会長の負担感



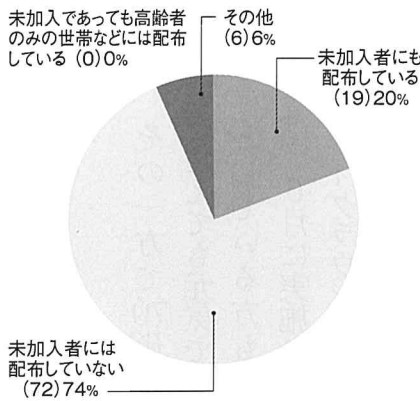
問3.回覧に要する日数



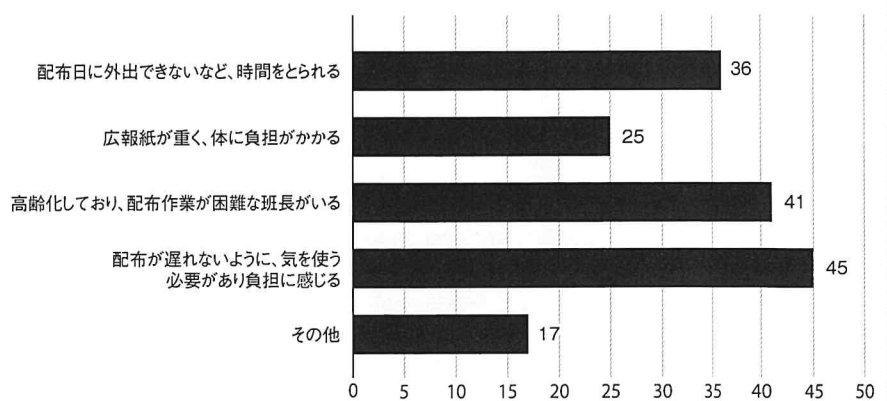
問2.広報紙の配布に要する日数



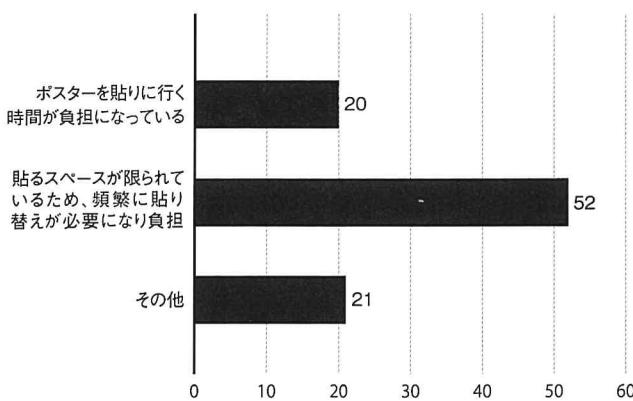
問5.自治会未加入者への対応



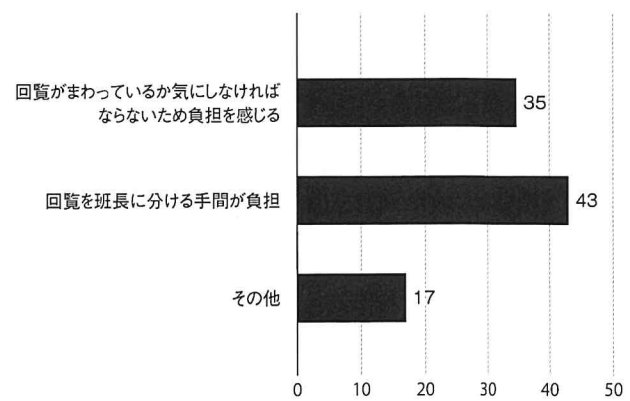
問 4-1. 広報配布が負担になっている理由 (複数回答可)



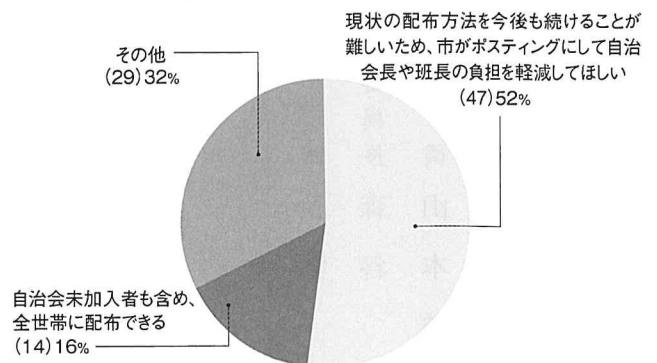
問 4-3. 掲示依頼が負担になっている理由 (複数回答可)



問 4-2. 回覧が負担になっている理由 (複数回答可)



問6.今後の広報紙等の配布方法



※()は自治会数です

【アンケートの集計について】
 ・ 選択回答形式の設問の結果の数値は、その選択肢を選択した自治会数、比率を併記しており、比率はすべて%で表しています。比率の算出は、その質問の回答者数を基数として少数第1位を四捨五入しています。なお、合計が100%にならない場合があります。
 ・ 複数回答形式の設問の結果は、その選択肢を選択した自治会数を表しています。

わが町 わが自治会

西高尾8丁目（高尾チサン）
自治会

会長 野澤 茂雄

当自治会は会員数277世帯からなる西高尾地区では大きな自治会です。私は今年の4月に会長に就任するまでは自治会にはノータッチで、妻に任せきりで隣近所の人の顔くらいしか知りませんでした。

就任以来半年が過ぎ、徐々に自治会内のことが分かってくるにつれ驚いたことは、会員の高齢化と空き家の多さです。先日の敬老の日に後期高齢者の方々に記念品を配りましたが、その数217名。277世帯に217名の後期高齢者がいらつしゃって、その中でご夫婦のみ、また一人暮らしの方も少なくありません。この状況下で自治会は

何を優先して活動すべきか、と考えることが多くなりまりました。

さて、その一方で70代後半、80歳を超えても元気でかくしゃくとしていている方も多く、例えば、6月に実施されたコミュニティグラウンドゴルフ大会では、当自治会が地区優勝を果たし、地区を代表してコミュニティ対抗大会に出場しました。



もう一つ特筆しておきたいのは、自治会活動にとっても協力的な会員が多いことです。例を挙げると、自治会内に掲示板が2つありますが、両方

とも老朽化してポスター掲示が困難な状況でした。修理の見積りでは、2つで16万円とのこと、副会長と顧問の二人で修復してくれることになりました。材料をホームセンターで購入し、2つ合わせて1万円程度で直してくれました。



コロナが5類になったとはいえ、まだまだ感染者が増えている中で、こうした方々の協力を得ながら自治会としてやるべき優先順位を明確にして活動したいと思います。

令和五年度 北本市表彰

去る11月18日。北本市役所ホールにおいて、北本市の表彰式が行われました。自治会関係は、次の団体が、北本市の振興発展に寄与したとして表彰を受けました。

○善行表彰

（多年にわたり地域環境美化推進活動に貢献）

東10地区自治会

宮内1丁目自治会

西高尾1丁目自治会

北本チサン第3団地区自治会

広報委員会					担当役員
委員	委員	委員	委員	委員長	秋葉 清
佐藤 尚義	荒井 要	金子 和欣	山本 洋子	森谷 哲	